

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年3月30日(2017.3.30)

【公表番号】特表2016-520522(P2016-520522A)

【公表日】平成28年7月14日(2016.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2016-042

【出願番号】特願2016-502300(P2016-502300)

【国際特許分類】

|                |           |
|----------------|-----------|
| C 07 D 413/04  | (2006.01) |
| A 01 P 5/00    | (2006.01) |
| A 01 N 43/824  | (2006.01) |
| A 01 N 63/00   | (2006.01) |
| A 01 N 63/04   | (2006.01) |
| A 01 N 25/00   | (2006.01) |
| A 61 K 31/4245 | (2006.01) |
| A 61 P 33/00   | (2006.01) |
| A 61 P 33/02   | (2006.01) |
| A 01 C 1/08    | (2006.01) |
| A 01 M 1/20    | (2006.01) |

【F I】

|                |         |
|----------------|---------|
| C 07 D 413/04  | C S P   |
| A 01 P 5/00    |         |
| A 01 N 43/82   | 1 0 1 E |
| A 01 N 63/00   | F       |
| A 01 N 63/04   |         |
| A 01 N 25/00   | 1 0 2   |
| A 61 K 31/4245 |         |
| A 61 P 33/00   | 1 7 1   |
| A 61 P 33/02   | 1 7 1   |
| A 01 C 1/08    |         |
| A 01 M 1/20    | A       |

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月22日(2017.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

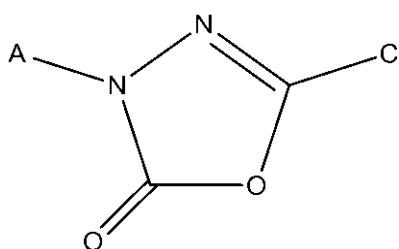
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式Iの化合物またはその塩であって、



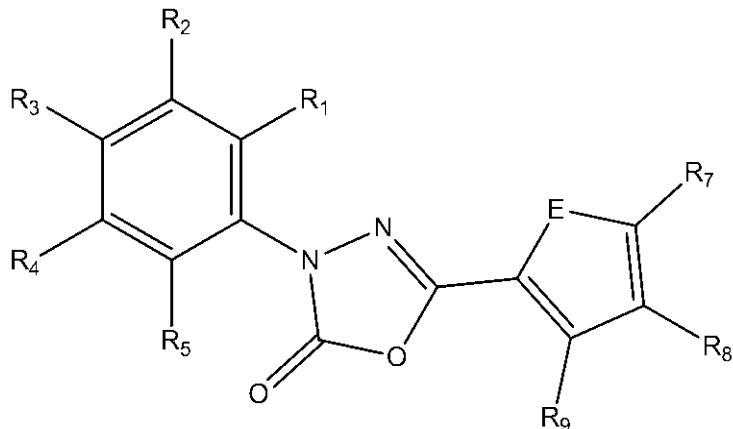
## 式 I

ここで、Aはフェニル、ピリジル、ピラジル、オキサゾリル及びイソキサゾリルからなる群から選択され、それぞれは独立してハロゲン、 $C\ F_3$ 、 $C\ H_3$ 、 $O\ C\ F_3$ 、 $O\ C\ H_3$ 、 $C\ N$ 、及び $C\ (H)\ O$ からなる群から選択される1つ以上の置換基で置換されていてもよく；ならびに、

Cはピロリル、チエニル、フラニル、オキサゾリル及びイソキサゾリルからなる群から選択され、それぞれは独立してアルキル、アルコキシ、シクロアルキル、ハロアルキル、ハロアルコキシ、ヘテロシクリル及びハロゲンからなる群から選択される1つ以上の置換基で置換されていてもよい、前記式Iの化合物またはその塩。

## 【請求項2】

前記化合物が式Iaの化合物またはその塩であり、



## 式Ia

ここで、 $R_1$ 及び $R_5$ は独立して水素、 $C\ H_3$ 、F、Cl、Br、 $C\ F_3$ 及び $O\ C\ F_3$ からなる群から選択され；

$R_2$ 及び $R_4$ は独立して水素、F、Cl、Br及び $C\ F_3$ からなる群から選択され；

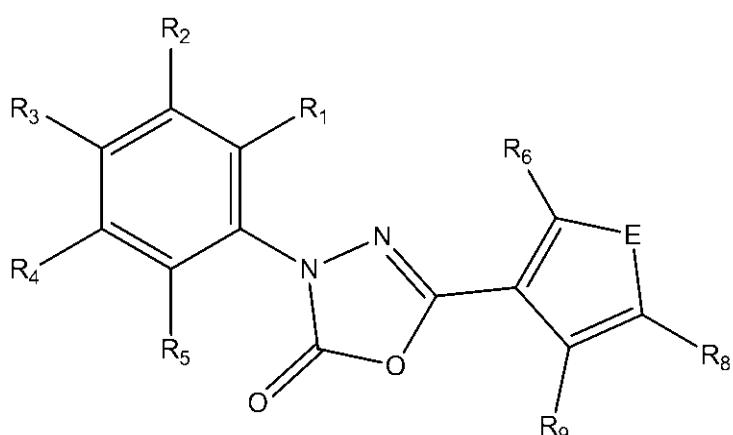
$R_3$ は水素、 $C\ H_3$ 、 $C\ F_3$ 、F、Cl、Br、 $O\ C\ F_3$ 、 $O\ C\ H_3$ 、 $C\ N$ 及び $C\ (H)\ O$ からなる群から選択され；

$R_7$ 、 $R_8$ 及び $R_9$ は独立して水素、アルキル、アルコキシ、シクロアルキル、ハロアルキル、ハロアルコキシ、ヘテロシクリル及びハロゲンからなる群から選択され；ならびに、

EはO、S及び $R_{10}$ がアルキルである $N - R_{10}$ からなる群から選択される、請求項1に記載の化合物。

## 【請求項3】

前記化合物が式Ibの化合物またはその塩であり、



## 式Ib

ここで、 $R_1$ 及び $R_5$ は独立して水素、 $C\ H_3$ 、F、Cl、Br、 $C\ F_3$ 及び $O\ C\ F_3$ か

らなる群から選択され；

$R_2$  及び  $R_4$  は独立して水素、F、Cl、Br 及び  $CF_3$  からなる群から選択され；

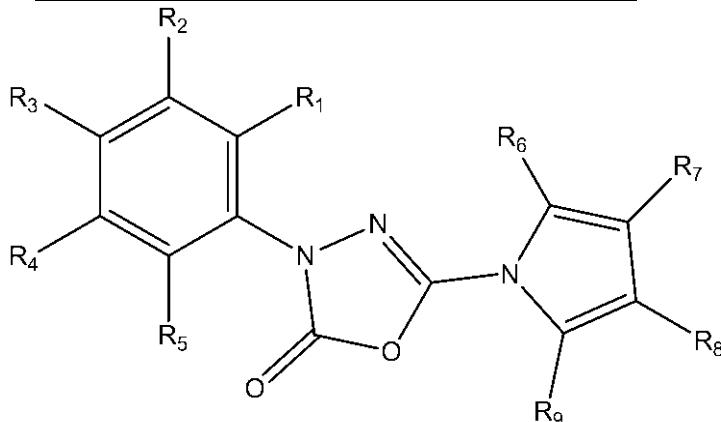
$R_3$  は水素、 $CH_3$ 、 $CF_3$ 、F、Cl、Br、 $OCF_3$ 、 $OCH_3$ 、CN 及び  $C(H)O$  からなる群から選択され；

$R_6$ 、 $R_8$  及び  $R_9$  は独立して水素、アルキル、アルコキシ、シクロアルキル、ハロアルキル、ハロアルコキシ、ヘテロシクリル及びハロゲンからなる群から選択され；ならびに、

E はO、S 及び  $R_{10}$  がアルキルである  $N - R_{10}$  からなる群から選択される、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 4】

前記化合物が式 I c またはその塩であり、



式 I c

ここで、 $R_1$  及び  $R_5$  は独立して水素、 $CH_3$ 、F、Cl、Br、 $CF_3$  及び  $OCF_3$  からなる群から選択され；

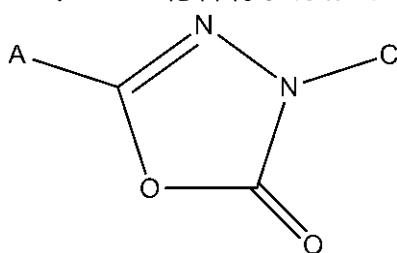
$R_2$  及び  $R_4$  は独立して水素、F、Cl、Br 及び  $CF_3$  からなる群から選択され；

$R_3$  は水素、 $CH_3$ 、 $CF_3$ 、F、Cl、Br、 $OCF_3$ 、 $OCH_3$ 、CN 及び  $C(H)O$  からなる群から選択され；ならびに、

$R_6$ 、 $R_7$ 、 $R_8$  及び  $R_9$  は独立して水素、アルキル、シクロアルキル、ヘテロシクリル及びハロゲンからなる群から選択される、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 5】

式 II の化合物またはその塩であって、



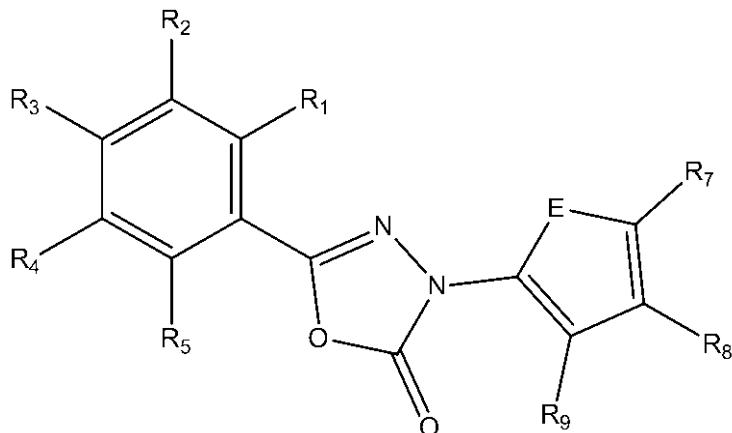
式 II

ここで、A はフェニル、ピリジル、ピラジル、オキサゾリル及びイソキサゾリルからなる群から選択され、それぞれは独立してハロゲン、 $CF_3$ 、 $CH_3$ 、 $OCF_3$ 、 $OCH_3$ 、CN、及び  $C(H)O$  からなる群から選択される 1 つ以上の置換基で置換されていてもよい；ならびに、

C はピロリル、チエニル、オキサゾリル及びイソキサゾリルからなる群から選択され、それぞれは独立して水素、アルキル、アルコキシ、シクロアルキル、ハロアルキル、ハロアルコキシ、ヘテロシクリル及びハロゲンからなる群から選択される 1 つ以上の置換基で置換されていてもよい、前記式 II の化合物またはその塩。

【請求項 6】

前記化合物が式IIaの化合物またはその塩であり、



式IIa

ここで、R<sub>1</sub>及びR<sub>5</sub>は独立して水素、CH<sub>3</sub>、F、Cl、Br、CF<sub>3</sub>及びOCF<sub>3</sub>からなる群から選択され；

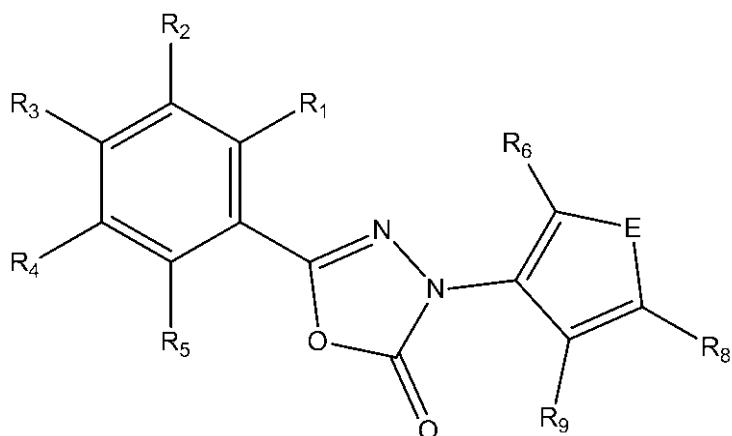
R<sub>2</sub>及びR<sub>4</sub>は独立して水素、F、Cl、Br及びCF<sub>3</sub>からなる群から選択され；

R<sub>3</sub>は水素、CH<sub>3</sub>、CF<sub>3</sub>、F、Cl、Br、OCF<sub>3</sub>、OCH<sub>3</sub>、CN及びC(H)Oからなる群から選択され；

R<sub>7</sub>、R<sub>8</sub>及びR<sub>9</sub>は独立して水素、アルキル、アルコキシ、シクロアルキル、ハロアルキル、ハロアルコキシ、ヘテロシクリル及びハロゲンからなる群から選択され；ならびにEはS及びR<sub>10</sub>がアルキルであるN-R<sub>10</sub>からなる群から選択される、請求項5に記載の化合物。

【請求項7】

前記化合物が式IIbの化合物またはその塩であり、



式IIb

ここで、R<sub>1</sub>及びR<sub>5</sub>は独立して水素、CH<sub>3</sub>、F、Cl、Br、CF<sub>3</sub>及びOCF<sub>3</sub>からなる群から選択され；

R<sub>2</sub>及びR<sub>4</sub>は独立して水素、F、Cl、Br及びCF<sub>3</sub>からなる群から選択され；

R<sub>3</sub>は水素、CH<sub>3</sub>、CF<sub>3</sub>、F、Cl、Br、OCF<sub>3</sub>、OCH<sub>3</sub>、CN及びC(H)Oからなる群から選択され；

R<sub>6</sub>、R<sub>8</sub>及びR<sub>9</sub>は独立して水素、アルキル、アルコキシ、シクロアルキル、ハロアルキル、ハロアルコキシ、ヘテロシクリル及びハロゲンからなる群から選択され；ならびに、

EはS及びR<sub>10</sub>がアルキルであるN-R<sub>10</sub>からなる群から選択される、請求項5に記載の化合物。

【請求項8】

EがSである、請求項2、3、6または7に記載の化合物。

## 【請求項 9】

3 - フェニル - 5 - (チオフェン - 2 - イル) - 1 , 3 , 4 - オキサジアゾール - 2 (3 H) - オン、

5 - (フラン - 2 - イル) - 3 - フェニル - 1 , 3 , 4 - オキサジアゾール - 2 (3 H) - オン、

3 - (4 - クロロフェニル) - 5 - (チオフェン - 2 - イル) - 1 , 3 , 4 - オキサジアゾール - 2 (3 H) - オン、

3 - フェニル - 5 - (ピロール - 1 - イル) - 1 , 3 , 4 - オキサジアゾール - 2 (3 H) - オン、

3 - (4 - クロロフェニル) - 5 - (ピロール - 1 - イル) - 1 , 3 , 4 - オキサジアゾール - 2 (3 H) - オン、

5 - フェニル - 3 - (チオフェン - 2 - イル) - 1 , 3 , 4 - オキサジアゾール - 2 (3 H) - オン

及び 5 - (4 - クロロフェニル) - 3 - (チオフェン - 2 - イル) - 1 , 3 , 4 - オキサジアゾール - 2 (3 H) - オン

からなる群から選択される化合物。

## 【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、水性殺線虫組成物。

## 【請求項 11】

界面活性剤、共溶媒、生物的防除剤、微生物抽出物、植物成長促進剤、植物防御剤、第 2 の殺虫剤またはこれらの混合物をさらに含む、請求項 10 に記載の殺線虫組成物。

## 【請求項 12】

細菌、真菌、有益な線虫及びウイルスからなる群から選択される生物的防除剤を含む請求項 11 に記載の殺線虫組成物。

## 【請求項 13】

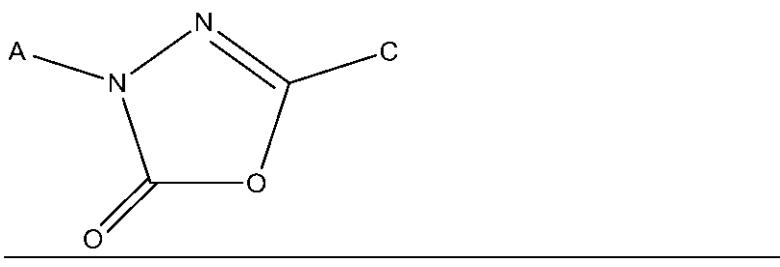
殺菌剤、殺虫剤及び除草剤またはこれらの混合物からなる群から選択される第 2 の殺虫剤を含む請求項 11 に記載の殺線虫組成物。

## 【請求項 14】

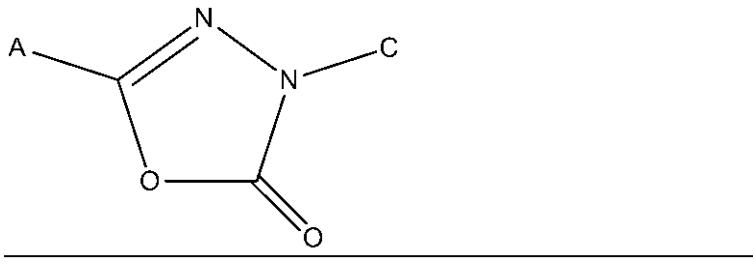
請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の化合物または殺線虫組成物を含むコーティングを含む種子。

## 【請求項 15】

有効量の式 I もしくは式 II :



式 I



式 II

ここで、Aはフェニル、ピリジル、ピラジル、オキサゾリル及びイソキサゾリルからなる群から選択され、それぞれは独立してハロゲン、 $C_F_3$ 、 $C_H_3$ 、 $O_C F_3$ 、 $O_C H_3$ 、 $C_N$ 、及び $C(H)O$ からなる群から選択される1つ以上の置換基で置換されていてもよく；ならびに、

Cはピロリル、チエニル、フラニル、オキサゾリル及びイソキサゾリルからなる群から選択され、それぞれは独立してアルキル、アルコキシ、シクロアルキル、ハロアルキル、ハロアルコキシ、ヘテロシクリル及びハロゲンからなる群から選択される1つ以上の置換基で置換されていてもよい、

で表される化合物またはそれらの塩を含む組成物を植物、種子または土壤に投与することを含む、所望しない線虫の防除方法。

【請求項16】

前記組成物を種子に投与することを含む、請求項15に記載の方法。

【請求項17】

請求項16に記載の方法に従って調製される処理した種子。

【請求項18】

前記組成物を外因的に植物に投与することを含む、請求項15に記載の方法。

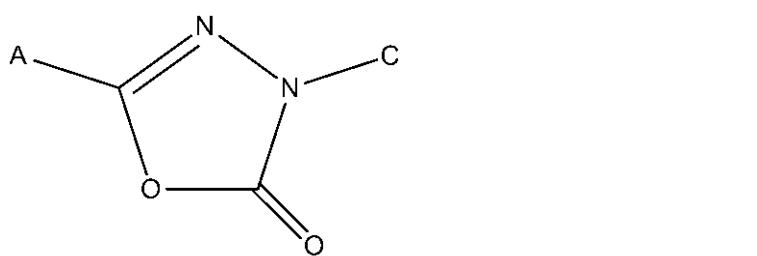
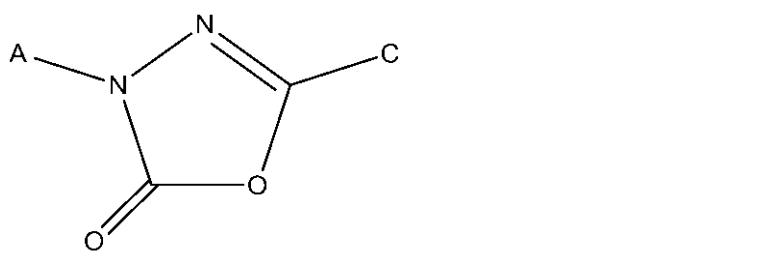
【請求項19】

前記組成物を植物の根部分を囲む土壤に投与することを含む、請求項15に記載の方法。

。

【請求項20】

動物内における線虫寄生の防除または防止方法であって、式Iもしくは式II：



ここで、Aはフェニル、ピリジル、ピラジル、オキサゾリル及びイソキサゾリルからなる群から選択され、それぞれは独立してハロゲン、 $C_F_3$ 、 $C_H_3$ 、 $O_C F_3$ 、 $O_C H_3$ 、 $C_N$ 、及び $C(H)O$ からなる群から選択される1つ以上の置換基で置換されていてもよく；ならびに、

Cはピロリル、チエニル、フラニル、オキサゾリル及びイソキサゾリルからなる群から選択され、それぞれは独立してアルキル、アルコキシ、シクロアルキル、ハロアルキル、ハロアルコキシ、ヘテロシクリル及びハロゲンからなる群から選択される1つ以上の置換基で置換されていてもよい、

で表される化合物またはそれらの塩を含む殺線虫処理組成物を動物に投与することを含む、前記方法。